大切にしたい価値と目指す将来像

大切にしたい価値

身近な自然をもとにした豊かな暮らしをわかちあう生活

地域内、地域外の人々との交流

●長野市から軽井沢町にかけた信州の東の地では、千曲川に沿った谷あいにまちが形成されてきました。

●「川が千の数ほど曲がっている」ことから命名された千曲川の地形的多様性をもとに、さまざまな風土や文化が形成されてきました。

●自然豊かなこの地域は、住まう人々も豊かです。地域間で豊かな食や文化をわかちあいながらまちが発展してきました。

●最近では、働き方改革の影響もあり、移住や二地域居住でこの地での暮らしを営む人も増えてきています。さまざまな交流が生まれていて、この流れは今後強まっていくことと思われます。

●地域外から来る人々にも、豊かな暮らしをわかちあうこと、交流を深めること、ともに楽しむことを大切な価値にしてもらいたい！と勉強会メンバーで話し合いました。

目指す将来像

さまざまな人々のライフスタイルを受容できるまち

●まちにはさまざまな立場の人が集います。
地元に住む人、観光で来る人など、地域へのかかわりの違いやライフステージ、家族構成の違いがあり、学生、カップル、ファミリー、高齢者など、実にさまざまな人がいます。

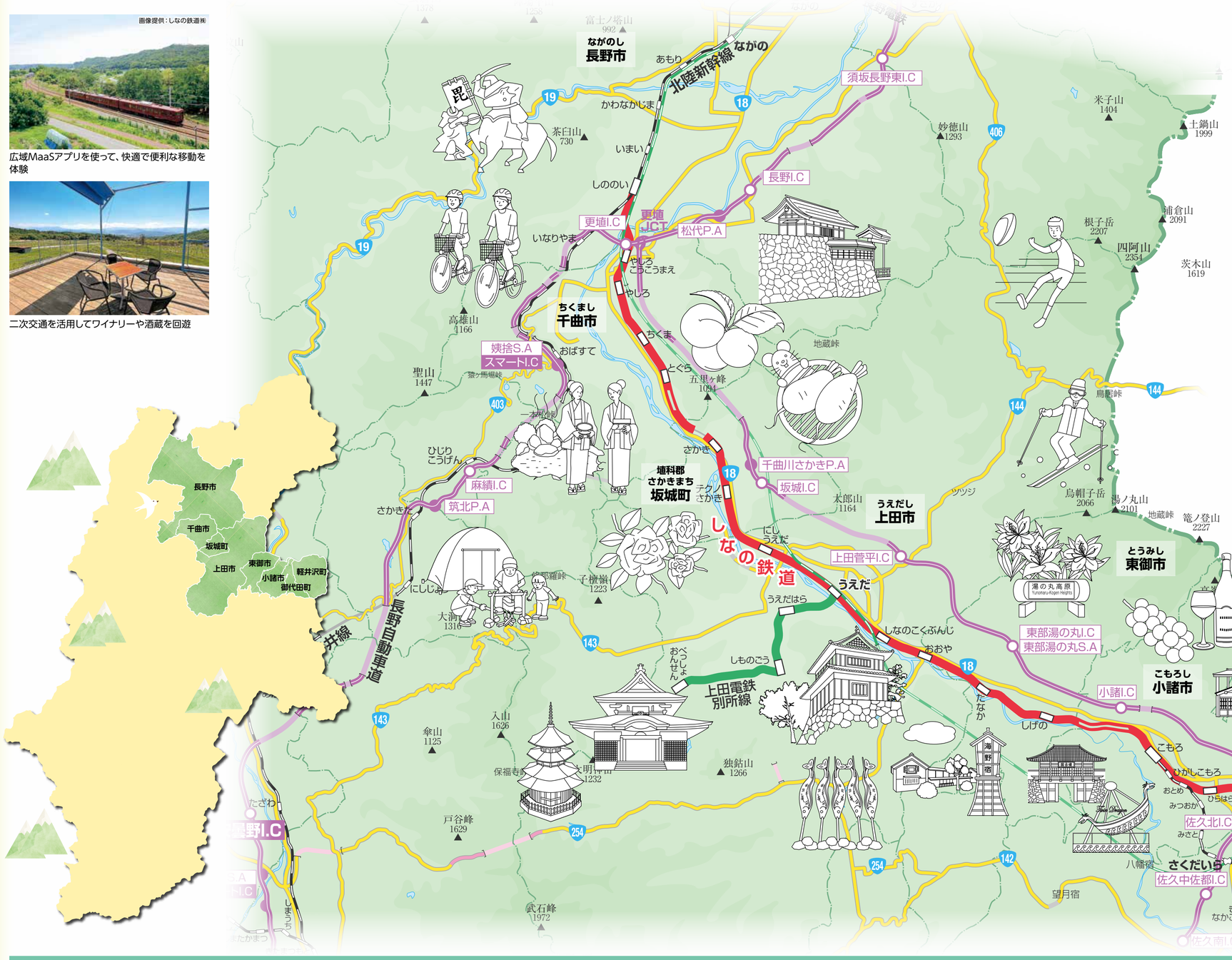
●勉強会では、さまざまな立場に立って考えようと話し合い、以下の意見に参加者からの支持が集まりました。

人の観点から	血縁がなくても家族のような縁が持てるまち
場所の観点から	のびのびと遊び、集える場所が駅前にあるまち
暮らしの観点から	新しいセカンドキャリアをスタートできるまち
学びの観点から	土、川、山、水や農業を通じ、自然から学べるここだけの「学びの場」があるまち
移動の観点から	誰もがストレスなく移動できるまち

みなさんのご意見は？

広域MaaSアプリを使って、快適で便利な移動を体験

二次交通を活用してワイナリーや酒蔵を回遊



地域内のスポットを回遊するEVバス

駅周辺の公共空間を活用したまちづくり

歴史的なまちなみをまちづくりに活用

駅周辺をシェアサイクルで快適に回遊

冬のアクティビティも地域内に充実

千曲川の自然をカヌーで堪能

勉強会で議論した内容

沿線まちづくりのテーマ

沿線まちづくりのテーマ

1. しなの鉄道や上田電鉄の鉄道車両内をイベントなどでも活用し、鉄道利用者が増えるようにする。
2. 無人駅を含めた駅舎や駅周辺の空間を活用し、駅に人が集うようにする。
3. 駅から周辺地域を回遊できる二次交通の手段や仕組みをつくりだす。
4. 鉄道沿線の見どころや地域情報を広域に情報発信し、地域のブランディングにつなげる。

まちづくりのテーマに沿って、例えばこんなプロジェクト

〈鉄道車両活用／駅舎・駅周辺活用〉

●トレインアートフェスティバル
地域をキャンバスに見立てて、駅や線路や橋梁を舞台にアート展示！

●電車で！駅でととのう！サウナトレイン
鉄道車両内、無人駅舎でのサウナ、水風呂、外気浴！サウナ後には沿線自慢のサウナ飯！

●無人駅フェス
増えつつある無人駅を資源に！
駅舎、駅前スペースを活かして音楽フェス！異なる駅ごとに多様なミュージシャンが演奏するフェスを開催！

●駅前広場「みんなマルシェ」
駅舎や駅前の空間を開かれた場所に！
しなの鉄道線や別所線の主要駅に、日替わりで対象者やテーマ別でのマルシェを開催！

〈二次交通〉

●市町村シェアサイクル連携
上田市・千曲市で推進中のシェアサイクルをほかの各市町村に拡大連携！

●広域MaaS
地域内の交通・情報がひとつのアプリに集約されて、快適で便利な移動体験が可能に！

〈情報発信・ブランディング〉

●関係人口図鑑「千の曲（クセ）」
「千曲」と書いて「千の曲（クセ）」ホームページや沿線の観光案内所の情報発信として、モノだけでなく地域のヒト→「クセモノ」を発信！

●全部入り観光案内所＆AIツアーコンダクター
沿線情報を集約した案内所と来場者に応じてAIがリコメンドしてくれるAIツアーコンダクターの実現！

〈共通の基盤〉

諸活動を調整、リードする公民連携の広域連携組織や、観光だけでなく、まちづくりを見据えた地域資源のマネジメントを行う団体の創設！